

徳富ダム建設工事共同事業者連携会議（第7回） 議事要旨

日 時 平成20年9月2日（火） 16:00～16:50

場 所 西空知広域水道企業団 会議室

出席者

共同事業者

河川総合開発事業

北海道建設部土木局河川課	（欠席）参事	内田	重巳
	（代理）主査	鈴木	邦明
北海道札幌土木現業所事業部	（欠席）部長	土栄	正人
	（代理）課長	那須野	裕久

国営かんがい排水事業

北海道開発局農業水産部農業水利課	（欠席）課長	板倉	純
	（代理）課長補佐	半谷	敬幸

北海道開発局札幌開発建設部

農業開発課第1課	課長	濱口	大志
----------	----	----	----

北海道開発局札幌開発建設部

樺戸農業開発事業所	（欠席）所長	奥山	昭雄
	（代理）副長	秦	哲

水道事業

西空知広域水道企業団	事務局長	平	幹夫
------------	------	---	----

道関係部局

北海道農政部農村振興局農村計画課	参事	佐々木	厚仁
北海道環境生活部環境局環境保全課	（欠席）参事	小林	徹也
	（代理）主幹	加藤	邦夫

地元自治体

月形町産業課	（欠席）課長	金澤	實
	（代理）係長	小蕎	孝之
浦臼町建設課	課長	横関	哲
新十津川町建設課	課長	岩井	良道
雨竜町産業建設課	課長	野村	隆男

【議事録要旨】

開会 〔札幌開発建設部 樺戸農業開発事業所前川副長〕

予定の時刻となりましたので、ただ今から第7回徳富ダム建設工事共同事業者連携会議を開催いたします。

私は、運営事務局の札幌開発建設部樺戸農業開発事業所副長の前川と申します。よろしく申し上げます。議事次第に従って進めさせていただきます。

始めに、本会議に先立ちまして会則の改正についてですが、事務局から提案いたします。お手元の資料13ページ第9条運営事務局についてアンダーラインで示していますが、西空知広域水道企業団及び新十津川町の機構改正に伴い機関名称が変更になっております。

資料14ページの参考資料に名称を見え消しで示しています。

これについて連携者会議構成員方々の合意を得て改正いたしたいと思っております。

如何でしょうか。

- - 異議なしの声 - -

これを持ちまして第9条運営事務局の一部改正について、案のとおり合意を得られ改正することとなりました。

[...徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 会則〔資料 - P12〕](#)

それでは、新しい会則に基づきまして当連携者会議の座長であります北海道開発局札幌開発建設部農業開発第1課濱口課長の進行により会議を進めさせていただきたいと思っております。

濱口課長よろしく申し上げます。

1 徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 座長挨拶
(北海道開発局 札幌開発建設部 濱口農業開発第1課長)

[挨拶概要]

この徳富ダム建設工事共同事業者連携会議は、徳富ダムにおける共同事業の実施に関する事項において、情報交換・精査検証並びに相互調整を行い、事業の円滑な推進を図ることを目的に、平成18年4月を第1回とし今回で第7回目の開催となっております。

今回の連携会議では、平成21年度の概算要求概要、事業の精査検証、事業に関連した地元地域の動静について情報交換並びに調整を行いたいと考えています。

なお本会議における情報公開については、従来と同様に会議が行政機関のみの参集でございますので、会議自体は非公開として扱わせていただきますが、議事内容・配布資料につきましては、札幌開発建設部のホームページを始め、共同事業者のホームページからリンクする他、関係自治体の方へ情報公開に努めたいと考えてますので、よろしく願いいたします。

2 徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 出席者紹介

3 共同事業者相互の調整

(1)平成21年度 概算要求概要

河川総合開発事業

- 平成20年度までは、通信設備等一部管理設備の製作に着手するとともに、試験湛水に向けて基本設計会議資料等の整理を行うこととしており、平成21年度については、ダム管理棟等の管理施設工事を行う予定です。

[...平成21年度 概算要求概要へ〔資料 - P1,2〕](#)

国営かんがい排水事業

- 徳富ダムを含む農業用排水施設の整備を行う、国営かんがい排水事業樺戸(二期)地区は、平成3年度に着手し、平成22年度完了に向けて事業を進めており、平成20年度までの進捗は、事業費ベースで75%を予定しています。
- 平成21年度の概算要求にあたっては、完了前年度ということで平成2

2年度に事業を確実に完了する上で必要な要求内容として、徳富ダムを始めとし、頭首工1カ所、徳富ダム注水工等の管水路及びトンネル1式を要求しているところです。

- ・ 徳富ダム本体は、平成21年度に堤体コンクリートの最終打設を完了する予定ですが、順調に進捗すれば平成20年度までに本体打設が完了する予定です。
- ・ 取水放流設備は、平成19年度から取水設備の製作に着手しており、平成21年度には完成する予定です。

[...平成21年度 概算要求概要へ〔資料 - P1,3,4〕](#)

水道事業

- ・ 西空知広域水道事業は、平成7年に事業認可を受けて、平成22年度までの工期で第4次拡張事業を実施しています。
- ・ 平成20年度までに第4次拡張事業に係る水道施設工事は完了しました。

[...平成21年度 概算要求概要へ〔資料 - P1,5〕](#)

(2) 事業の精査検証

河川総合開発事業

- ・ 平成16年度の再評価以降の進捗を踏まえた検証結果(事業の進捗状況、事業コスト縮減の取り組み、事業の必要性、事業を推進する上での課題、事業の達成見込み、治水事業の検証結果)を説明。
- ・ 今後とも平成16年度に実施した再評価の審議結果を踏まえてコスト縮減に努め、ダムの早期完成を図ります。

[...徳富ダム建設事業検証調書へ〔資料 - P6〕](#)

国営かんがい排水事業

- ・ 平成18年度の再評価以降の進捗を踏まえた検証結果(事業の進捗状況、事業コスト縮減の取り組み、事業の必要性、事業を推進する上での課題、事業の達成見込み、国営土地改良事業の検証結果)を説明。
- ・ 今後とも平成18年度に実施した再評価の審議結果を踏まえてコスト縮減に努め、早期の完了に向けて事業を着実に推進します。

[...徳富ダム建設事業検証調書へ〔資料 - P8〕](#)

水道事業

- ・ 平成18年度の再評価以降の進捗を踏まえた検証結果(事業の進捗状況、事業コスト縮減の取り組み、事業の必要性、事業を推進する上での課題、事業の達成見込み、水道事業の検証結果)を説明。
- ・ 今後とも平成18年度に実施した再評価の審議結果を踏まえて徳富ダム建設事業により、水道水の安定水源確保を行います。

[...徳富ダム建設事業検証調書へ〔資料 - P10〕](#)

(3) 事業に関連した地元地域の動静について

月形町

- ・ 特に情報提供するような地元の大きな変化はありませんが、当町において、平成20年度以降に計画している関連事業と平成20年度の作況状況について説明いたします。
- ・ 関連事業に関しては、浦臼町の一部を含む札比内北側の札豊地区は、道営土地改良事業で農業用排水路・区画整理・暗渠・客土の整備を行い、農地集積による経営規模拡大と農業生産性の向上を図るものです。平成21年度事業開始、平成25年度の完成を予定しており、現在、農地集積加速化等基盤整備事業での実施に向け計画中であります。
- ・ 徳富ダムの視察等の関係についてですが、町議会で徳富ダム現場視察を行って、事業内容について理解を得ています。また、小学校2校で月形の農業と徳富ダムについての学習会や町民を対象としたダム見学会を予定しています。今後、ダム本体工事が完成に向け本格化していることや月形地区の工事や道営事業の工事が着手することに伴い、多くの団体に現地視察をしてもらい、ダム事業の必要性をPRしています。
- ・ 平成20年の農産物の作況についてですが、今年の農産物は、総じて平年並みで推移しています。水稲は、穂数は平年より多く、一部でいもち病が発生していますが順調に推移しています。ただ、全国の作況指数が100を超えたと見られますと、市場に出回らない隔離保管措置が懸念されます。
- ・ 花きについては、大きな障害もなく、平年並みに生育し出荷していますが、本州産との出荷時期の競合、経済状況の悪化による業務用や個人用の需要が低迷し、安価で推移しています。

浦臼町

- ・ 今年度の浦臼町における水稲の作柄ではありますが、冷害危険期間中は、平年並みの気温で推移し、出穂は一時の低温・日照不足により停滞しましたが、後半に気温・日照ともに平年を上回り、順調に出穂しました。登熟についても若干気温が低く推移しましたが、概ね良好に登熟しており、平年以上を見込んでおります。
- ・ 樺戸（二期）地区への当町の地域活動としましては、ダム本体コンクリート打設が、おおむね本年度で完了すると聞いており、積極的に地域に呼びかけたところ、町内の諸団体、小学生、中学生、土地改良区関係者及び町議会など多数の町民に現地を視察していただきました。
- ・ 水道事業に関しましては、冬の降雪量の少なさから、徳富川の水量が減少し住民に節水の協力をお願いしました。
安定した農業経営及びライフライン確保に徳富ダムの早期完成を望みます。

新十津川町

- ・ 新十津川町の状況といたしまして、昨年と同様な状況で冬期の少雪と春から夏にかけての少雨から水不足の状況となっています。飲料水を含む生活用水と営農用水に支障が生じましてダムの必要性を再認識し、徳富ダムの早期完成を願うものでございます。
- ・ 情報公開でございますが、従前同様町の広報誌及び役場建設課窓口で縦覧し住民に対し周知に努めております。
- ・ 水稲の作柄はやや良との報告を受けておりますが、他の町と同じくあまり収量が多いと価格が下落し、収入が減少するということを懸念しております。
- ・ 最後に、平成20年のダム見学でございますが、8月31日現在で28団体70

0人でございます。

雨竜町

- ・ 国営樺戸（二期）地区に関連する事業として、国営農地再編整備事業雨竜暑寒地区を進めており、昨年から地区説明会、今年に入って促進期成会の発足、関係機関団体による事業検討会など、札幌開発建設部の指導を得ながら、6月に平成21年度地区調査採択申請書を北海道開発局へ提出をしています。
- ・ 道営事業については、平成21年度から新たになる「農地集積加速化等基盤整備事業」2地区の採択申請と継続地区4地区の事業実施を行っているところです。
- ・ ダム見学については、平成20年は、13団体、317人。
農業用水、飲料水に対する住民の関心と期待も高まっているという状況です。

4 質疑応答

Q1: 管理設備工事に関するコスト縮減の取り組みについて伺いたい。

A1: 北海道では、ダム管理所の非常駐管理とし、滝川出張所から管理する事によりダム管理事務所建設費用の縮減を図っています。又 管理機器・設備の小型化に伴う管理棟などの小スペース化及び、汎用品を可能な限り使用する事により、管理設備工事のほか今後の維持管理面においてもコストを抑える事が出来ると考えています。

Q2: ダムの施工について、平成20年度実施計画時点と比べて現在までの実施状況から変更があれば伺いたい。

A2: 平成20年度実施計画時点につきましては、堤体全体で2千m³を残して施工する予定でしたが、天候に恵まれ予定しておりました3千8百m³プラス2千m³で、今年の10月までに堤体コンクリート打設を終える見込みです。加えまして高透水部が確認されましたことから、関係機関と調整の上カーテングラウトの範囲を当初より若干追加させていただいて施工しております。

Q3: 渇水時における取水については、関係機関と十分調整が図られてきた所と思いますが今年度の状況を伺いたい。

A3: 今年も昨年と同様水不足が発生いたしました。

6月5日利水者である新十津川土地改良区と水利調整に関する協定について締結をいたしました。6月12日渇水対策本部を設置するとともに、広報誌、防災無線により住民へ節水広報を行っております。6月25日札幌土現・石狩川開建・札幌開建と水利使用に関する打合せを終えております。

現在までに、制限流量を下回った日数が22日間ありその内、水利調整により取水した日数は13日間であります。

とりまとめ〔座長〕

各事業者の平成21年度概算要求概要と事業の精査検証についての報告及びここまでの議事の結果、徳富ダム建設工事共同事業者連携会議は、「各事業とも概ね順調に進捗していることを相互に確認できました。また徳富ダム建設にあっては、今後ともコスト縮減に努め早期の完了に向けて事業を着実に進捗する。」ことと致したいと思っております。如何でしょうか。

[一同 異議なし]

ありがとうございました。

5 今後の予定〔事務局より報告〕

次回の連携会議の開催時期は、実施計画策定期間である2月頃の開催に向けて調整いたします。

情報公開方法についてですが、議事要旨及び配付資料の公開は、連携会議構成員の確認を得て、速やかに施工主体である北海道開発局札幌開発建設部のホームページに掲載し、共同事業者等は、各自のホームページ上に、上記ホームページのリンクを張り付けていただきます。また、関係4町は、広報に上記ホームページのURLを掲載する一方、各役場の掲示版等に議事要旨及び配付資料を掲げてください。国の実施事業所である樺戸農業開発事業所においても希望者に資料を配付する体制を整えることとしたいと思っております。

6 その他〔座長〕

提案など何かございませんか。

- - 特になしの声 - -

それでは、以上を持ちまして第7回徳富ダム建設工事共同事業者連携会議を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

以上